

10月15日に行いましたプランクトン調査(播磨灘・備讃瀬戸)の結果をお知らせします。

【概況】(調査事業名:冬季広域共同調査事業)

・魚毒性を示す有害プランクトン、貝毒の原因となる有毒プランクトンは確認されませんでした。

・ユーカンピアは確認されませんでした。

・播磨灘、備讃瀬戸全域でコシノディスカスが高密度に確認されました。

・備讃瀬戸東部沖合の広い範囲でノクチルカ(夜光虫)の着色域が確認されました(最高細胞密度 220 細胞/mL:小豆島南部海域)。本海域では、沿岸部でも本種の赤潮発生が確認されています(10/14 高松港、屋島湾)。魚類養殖や活魚の運搬、漁船の航行には十分ご注意ください。

表：2021年10月15日 有害・有毒プランクトン調査結果(単位:細胞/mL*コシノディスカスを除く)

調査地点	水深(m)	シャットネラ属	カレニア・ ミキモトイ	アレキサン ドリウム属	ユーカンピア・ ゾディアクス	コシノディスカス・ ワイレシー (単位:細胞/L)
KA11	0	0	0	0	0	410
	10	0	0	0	0	420
	B-1	0	0	0	0	300
KA26	0	0	0	0	0	455
	10	0	0	0	0	465
	B-1	0	0	0	0	475
KA19	0	0	0	0	0	385
	10	0	0	0	0	795
	B-1	0	0	0	0	1190
KA21	0	0	0	0	0	170
	10	0	0	0	0	400
	B-1	0	0	0	0	850
KA22	0	0	0	0	0	435
	10	0	0	0	0	45
	B-1	0	0	0	0	165
KA23	0	0	0	0	0	50
	10	0	0	0	0	85
	B-1	0	0	0	0	305
KA1	0	0	0	0	0	65
	10	0	0	0	0	185
	B-1	0	0	0	0	565
KA2	0	0	0	0	0	135
	10	0	0	0	0	400
	B-1	0	0	0	0	770
KA4	0	0	0	0	0	50
	10	0	0	0	0	445
	B-1	0	0	0	0	1590
KA7	0	0	0	0	0	45
	10	0	0	0	0	1145
	B-1	0	0	0	0	1245
K4	0	0	0	0	0	20
	5	0	0	0	0	685
	B-1	0	0	0	0	2305

*コシノディスカスについては試水 200 mL を濃縮して計数し、1L あたりの細胞密度に換算した値を記載しています。

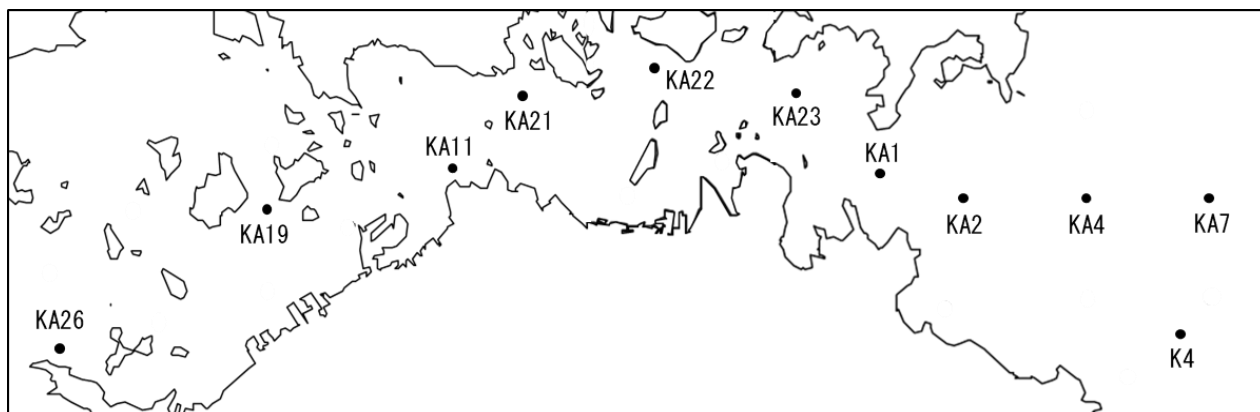
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘・備讃瀬戸：冬季広域共同調査事業）



【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL